



熱戦が繰り広げられたロボットコンテスト

ホンダのアシモというロボットは上手に二足歩行することで有名ですが、今年はそのアシモが、かけ足をするこ

とができるようになったというニュースが流れていました。しかし、今回の大会では、ほとんどのロボットが二足歩行、つまり「歩く」ということに悪戦苦闘していました。一歩もスタートできないロボットがいたり、歩こうとするたびに転倒したりと、「歩く」ということの難しさをまざまざと見せつけられました。

近い将来、彼らが研究を重さね、人間のようになれるロボットを発明する日が来るかもしれません。

世界中の工場やロボットが働いています。そのロボットたちは専門的分野で活躍するものですが、今後は限りなく人間に近いタイプのロボットが現われてくることでしょう。鉄腕アトムは、偉大なお茶の水博士でなければ作れませんでした。性能は少々劣るとはいえ、今回のロボットコンテストに出場した歩くロボットたちは、高専の学生たちが大変な努力と熱い思いで作りました。

10月12日、全国高等専門学校ロボットコンテスト東海北陸地区大会が、伊勢市の県営体育館で開催され、鳥羽商船高等専門学校からも2チームが参加しました。

ロボットコンテストは人気が高く、11月16日のテレビ放送では多くの人が楽しめることと思います。

木田市長の




コミュニケーション

vol.39

ロボット

隣に座ったかたと話をして同意したのは「人間は、うまくできていますねえ」ということでした。



人権文化の花を咲かせよう

Vol.78

こんなアニメがあります

昨今さまざまなアニメのDVDがあります。その中で、「めぐみ」というアニメがあるのをご存じでしょうか。

この「めぐみ」は、1977（昭和52）年、当時中学1年生で北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの事件を題材にして作られました。

このDVDのレンタルについては、日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合の協力で、9月5日から全国ほとんどのレンタルビデオ店において無料（一部店舗は除きます）で貸し出しされることになりました。

「めぐみ」は、市立図書館、市民課にもあります。貸し出しも行っていますので、ぜひご利用ください。

また、レンタルビデオ店まで行けないかたは、パソコンをお持ちのかたは、インターネットで見ることができ、パソコンにダウンロードすることも可能です。<http://netv.gov-online.go.jp/prg/prg1754.html>

平成18年6月には、「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、12月10日から16日までが「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」となっています。

この機会に「めぐみ」をご覧ください、家族が離れ離れになった状態でいる横田さんをはじめ「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」のみなさんの思いを一人でも多くのかたがたに知っていただきたいと思えます。

みんなが北朝鮮拉致問題について関心を持つことが、事件の風化を防ぎ、解決に向けて一歩でも前進することにつながっていくと思えます。